

1 刈谷市障害者計画・刈谷市障害福祉計画

刈谷市障害者計画

●計画期間：平成24年度～29年度

第4期刈谷市障害福祉計画

●計画期間：平成27年度～29年度

※「刈谷市障害者計画」→平成10年に策定後、18年、24年に改定

※「刈谷市障害福祉計画」→平成18年に策定後、21年、24年、27年に改定

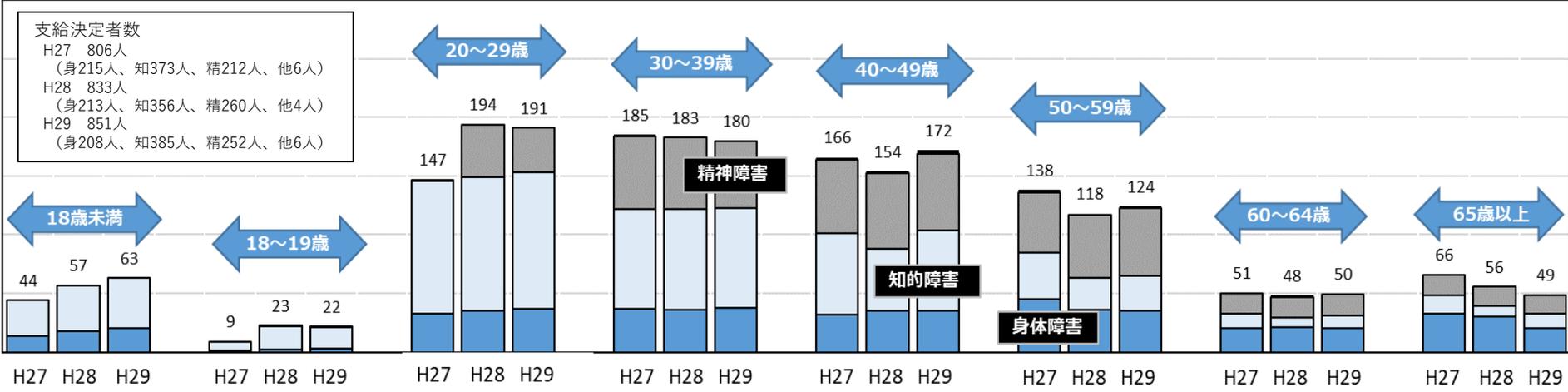
	障害者計画	障害福祉計画
根拠内容	障害者基本法に基づき、医療や福祉、雇用等障害者施策の基本的な考え方と施策の方向性について規定	障害者総合支援法に基づき、国の基本指針において示される成果目標や障害福祉サービス等の見込量等（活動指標）について規定
位置付け	施策は、障害者の性別、年齢、障害の状態及び生活の実態に応じ、かつ、有機的連携の下に総合的に策定、実施することが必要 ※法律上定めるべき事項の明記はなし	(法定事項) ・障害福祉サービス及び地域生活支援事業の提供体制の確保に係る目標 ・地域生活支援事業の種類ごとの実施に関する事項 (定めるよう努める事項) ・障害福祉サービス等の必要な見込量の確保のための方策
計画期間	法律上規定なし (現在は6年間)	基本指針で3年と規定

24年度 (2012)	25年度 (2013)	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	33年度 (2021)	34年度 (2022)	35年度 (2023)	
刈谷市障害者計画						刈谷市障害者計画						
第3期刈谷市障害福祉計画			第4期刈谷市障害福祉計画			第5期刈谷市障害福祉計画 第1期刈谷市障害児福祉計画						
年度評価	年度評価	年度評価										
障害福祉計画部分の評価・検証												

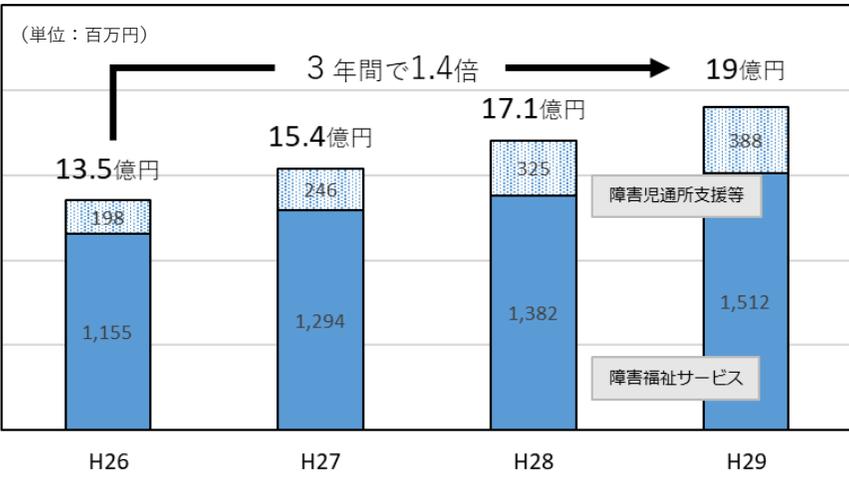
2

障害福祉サービス受給者等の状況

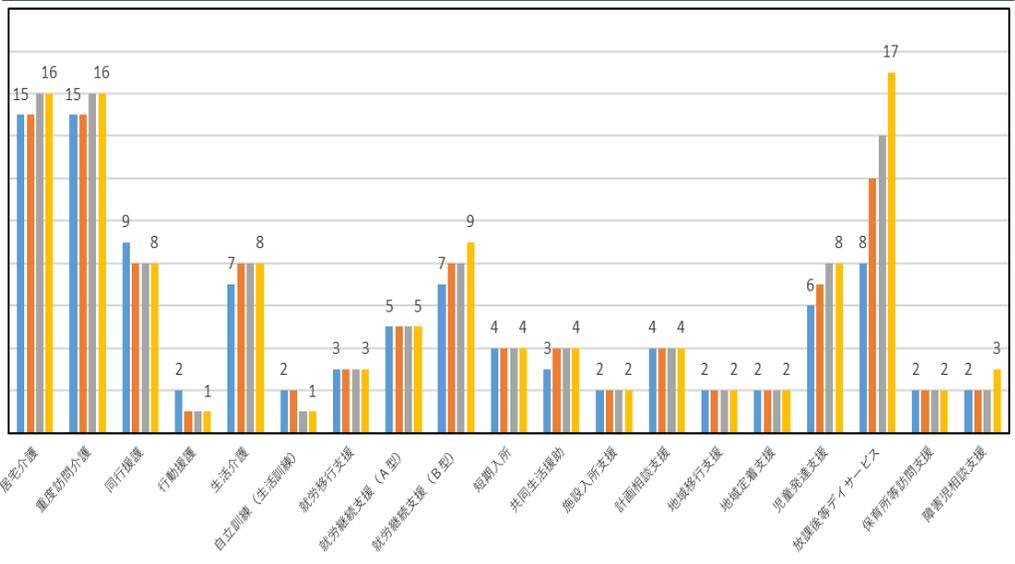
障害福祉サービスの年齢層別支給決定者数 ※障害児通所支援等除く



障害福祉サービス・障害児通所支援等の給付費



事業所数 (平成27年~平成30年) ※各年4月1日時点



3 刈谷市障害者計画の進捗状況概要

進捗状況	対象事業数	備考 (括弧内は事業番号)
達成した	65	<p>【15】身体障害者デイサービスセンターたんぼぼに防犯カメラを設置した。つくし作業所の定員を40名から50名に拡大するため、作業室等の増築工事を行った。</p> <p>【23】聴覚障害のある人の意思疎通を図るため、筆談ボードを福祉総務課に設置した。</p> <p>【47】特別支援学校の開設に向けて、小垣江東小学校の改修・増築工事を進めた。</p> <p>【53】小高原小学校、平成小学校、小垣江小学校、小垣江東小学校のトイレをバリアフリー化した。</p> <p>【63・73】一般就労移行のため、企業の雇用担当者を対象に障害者雇用セミナー及び事業所バスツアーを開催した。</p> <p>【64】身体障害者を市職員の一般事務職として2名採用した。</p> <p>【80】東刈谷幼稚園、小垣江東幼稚園、日高保育園、刈谷東中学校にオストメイト設備の多目的トイレを設置した。</p> <p>【93】市全職員を対象に平成28年4月に施行された差別解消法についての研修を行った。</p>
概ね達成した	35	<p>【18】身体障害者を対象としたグループホームが開設した。</p> <p>【19】下重原住宅において、手すりや緊急通報装置等が設置されたシルバーハウジング型の住居を1部屋、整備を進めた。</p> <p>【43】自立支援協議会の子ども部会において、子どもの発達に不安がある親向けに子育て支援セミナーを開催した。</p> <p>【49】富士松南小学校に通級教室を新たに設置した。</p> <p>【51】市内小中学校の特別支援学級児童の障害の重度化、多様化に対応するため支援指導補助員を5名増員した。</p> <p>【90】一ツ木福祉センターを専ら福祉避難所とし、要配慮者の受入体制を拡充した。</p>
達成していない	1	

目標通り達成できなかった事業

事業番号	事業名	内容	備考
34	ピアカウンセリング	<p>○障害者相談員を配置し、障害のある人または保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行います。</p> <p>○障害者相談員と、民生委員・児童委員やその他の相談機関等との連携を図れるよう、支援を行います。</p>	<p>・障害者相談員は現在配置されていないが、障害者同士のカウンセリングであるピアカウンセリングは、障害者同士でお互いにつながり、支えあいながら自立生活を指すためにも有効であり、支援の方法について検討していく必要がある。</p>

4

刈谷市障害者計画の進捗状況

事業番号	事業名	内容	実績		進捗状況	担当課 (H29)
			H28	H29		
1	乳幼児健康診査	○4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査を実施し、障害の早期発見、早期療育につなげるとともに、育児不安のある保護者の支援を行います。 ○未受診者の把握と受診率の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児（受診率100%） ・1歳6か月児（受診率99%） ・3歳児（受診率99.3%） ・未受診者へは家庭訪問を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・4か月児（受診率100%） ・1歳6か月児（受診率99.6%） ・3歳児（受診率99%） ・未受診者へは家庭訪問を実施 	概ね達成した	子育て支援課
2	健康診査後の指導	○乳幼児健康診査等で把握した、経過観察が必要と思われる子どもとその保護者に対し、「さくらんぼルーム」「どんぐりルーム」、健康相談等を開催します。さらに、内容の充実にも努めるとともに、一人ひとりに応じた支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりルーム（317人） ・2歳、2歳6か月児健康相談（1,341人） ・チューリップ相談室（85人） ・ひまわり相談室（20人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんぐりルーム（293人） ・2歳、2歳6か月児健康相談（1,381人） ・チューリップ相談室（74人） ・ひまわり相談室（25人） 	概ね達成した	子育て支援課
3	発達障害等への支援	○発達の遅れやその疑いのある子どもが適切な支援を受けられるよう、「ラッコちゃんルーム」や「ことばの相談室」等を開催します。 ○保健、医療、福祉間の連携を強化し、発達障害の早期発見と早期治療に努めます。 ○発達障害や高次脳機能障害について、県や関係団体との連携のもと情報提供等を行い、幅広く市民への知識の普及に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ラッコちゃんルーム（3,317組） ・ことばの相談室（519組） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ラッコちゃんルーム（2,840組） ・ことばの相談室（316組） 	概ね達成した	子育て支援課 福祉総務課
4	成人の健康診査	○生活習慣病の予防に向け、特定健康診査、特定保健指導を実施します。健診実施率、保健指導実施率の向上に努めます。 ○障害の原因となる疾病の予防に向け、大腸がん検診等のがん検診、脳ドックを行います。がん検診の受診率の向上、脳ドックの受診率の拡大に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・特定検診（受診率43.7%） ・大腸がん（受診率28.0%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・特定検診（受診率44.1%） ・大腸がん（受診率28.4%） 	達成した	国保年金課 健康推進課
5	訪問指導	○訪問指導を行い、育児に関する相談を行います。 ○支援が必要な子どもや保護者に対しては、保健師が継続した訪問や相談を行います。	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問指導（980件） ・あかちゃん訪問（1,506人） 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問指導（907件） ・あかちゃん訪問（1,412人） 	概ね達成した	子育て支援課
6	心の健康づくり	○市民健康講座等を通じ、心の健康づくりに関する啓発と知識の普及に努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・産後うつ病自己評価を実施 ・心の健康づくりに関する市民健康講座を3回開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・産後うつ病自己評価を実施 ・心の健康づくりに関する市民健康講座を2回開催 	概ね達成した	健康推進課 子育て支援課

7	医療費の助成	○愛知県が実施する心身障害者・精神障害者医療費助成のほか、市独自の医療費助成制度により障害のある人の経済的負担を軽減します。 ○国の制度改革等の動向を踏まえ、必要に応じて適正かつ効果的な制度へと見直しを行います。	実施（心身障害者医療費助成：1,411人、精神障害者医療費助成：1,807人）	実施（心身障害者医療費助成：1,432人、精神障害者医療費助成：1,864人）	達成した	国保年金課
8	医療機関におけるコミュニケーション支援	○医師会等と連携し、障害のある人が医療機関で診療を受けやすい環境づくりに努めます。	医療機関への手話通訳の派遣を実施（223件）	医療機関への手話通訳の派遣を実施（241件）	達成した	福祉総務課
9	訪問歯科診療	○歯科医師会が行うねたきり老人や障害のある人の自宅への訪問歯科診療事業を支援し、安心して歯科診療を受けられる体制を整備します。	実施（28件）	実施（21件）	達成した	健康推進課
10	訪問看護	○精神障害のある人に対して、医療機関等が行う訪問看護について周知を図ります。	実施	実施	達成した	福祉総務課
11	居宅介護等	○介護給付による居宅介護、重度訪問介護、重度障害者等包括支援、地域生活支援事業による生活サポート、移動入浴サービスの訪問系サービスを行い、障害のある人の自宅での生活を支援します。	実施 （居宅介護：136人、重度訪問介護：8人、生活サポート：1人、移動入浴：7人）	実施 （居宅介護：137人、重度訪問介護：15人、移動入浴：7人）	達成した	福祉総務課
12	移動支援等	○介護給付による行動援護、同行援護及び地域生活支援事業による移動支援を実施し、障害のある人の外出を支援します。	実施 （同行援護：9人、行動援護：1人、移動支援：82人）	実施 （同行援護：10人、行動援護：1人、移動支援：93人）	達成した	福祉総務課
13	自立訓練・生活介護等	○自立訓練、生活介護、療養介護等を行い、障害のある人の自立した日常生活や社会生活を支援します。	実施 （自立訓練：9人、生活介護：196人、療養介護：11人）	実施 （自立訓練：7人、生活介護：207人、療養介護：12人）	達成した	福祉総務課 社会福祉協議会
14	地域活動支援センター	○地域活動支援センターについて、創作活動や生産活動の機会の提供、機能訓練、社会との交流を促進します。	実施（66人）	実施（60人）	達成した	福祉総務課 社会福祉協議会
15	障害福祉施設の整備、充実	○障害のある人の自立支援の拠点となる施設の充実を図り、相談や訓練などの支援を行います。 ○老朽化した施設の整備計画を進めます。	心身障害者福祉会館、身体障害者デイサービスセンターたんぼぼにシャワートイレを設置	・身体障害者デイサービスセンターたんぼぼに防犯カメラを設置 ・つくし作業所を増築し、定員を40名から50名に拡大	達成した	福祉総務課
16	短期入所	○身近な地域での利用ができるよう、既存施設の利用・多機能化について研究します。 ○重度心身障害児・者が短期入所を利用しやすい環境整備に努めます。	実施（47人） 重症心身障害児・者 短期入所補助制度 延利用者 13人 延利用日数 546日	実施（48人） 重症心身障害児・者 短期入所補助制度 延利用者 8人 延利用日数 498日 強度行動障害児・者 短期入所補助制度 対象者 2人 延利用日数 508日	達成した	福祉総務課

事業番号	事業名	内容	実績		進捗状況	担当課 (H29)
			H28	H29		
17	日中一時支援	○地域生活支援事業の一つとして、日中、障害者支援施設等において障害のある人（就学児以上）に活動の場を提供し、見守りや社会適応に必要な訓練を行う日中一時支援事業を実施します。	実施（57人）	実施（44人）	達成した	福祉総務課
18	グループホーム・ケアホーム	○地域において自立して暮らせるよう、住まいの場となるグループホームやケアホームの整備を促進します。	4事業所 定員60人	4事業所 定員67人	概ね達成した	福祉総務課
19	シルバーハウジング	○市営住宅の建て替えに合わせて、手すりや緊急通報装置等が設置されたシルバーハウジングの整備を推進し、入居要件に該当する障害のある人への提供を行います。	下重原住宅をシルバーハウジングに整備するため一部取壊しを実施	下重原住宅のシルバーハウジング整備を実施	概ね達成した	建築課
20	住宅改修費の支給	○個人の住宅の居室、浴室、トイレ等を障害のある人用に改修する場合に住宅改修費を支給します。	実施（5件）	実施（2件）	達成した	福祉総務課
21	施設入所支援	○施設への入所が必要な障害のある人が円滑な施設利用ができるよう、環境を整備します。 ○事業者との連携のもと、地域の中での入所施設の機能や役割について検討し、地域との交流、自立訓練、相談の場などの充実・確保を図ります。	実施（延利用者80人） 2事業所 定員50人	実施（延利用者77人） 2事業所 定員50人	達成した	福祉総務課
22	多様な住まい方への支援	○通路等のバリアフリー化やエレベーターの設置がなされている市営住宅を、障害のある人や高齢者向けの住戸として入居を推進します。 ○障害のある人や高齢者で、入居要件に該当する方に対し、市営住宅への優先入居を行います。 ○県との連携のもと、民間住宅への入居支援の充実を図ります。	・市営住宅改修 西境住宅他10戸 ・優先入居 中山住宅他3戸	・市営住宅改修 一ツ木西住宅他8戸 ・優先入居 西田住宅他3戸	概ね達成した	福祉総務課 建築課
23	コミュニケーション支援	○手話通訳者、要約筆記者の派遣等を行い、聴覚障害のある人の意思疎通の円滑化を図ります。 ○ボランティアガイドを務めるボランティア団体への活動支援を通じ、視覚障害のある人や脳性まひ者等全身障害者の社会参加や外出を支援します。	・手話通訳等派遣件数 261件 ・手話通訳者奉仕員養成講座、要約筆記ボランティア講座開催 ・ボランティアガイド利用者 289人	・手話通訳等派遣件数 274件 ・手話通訳者奉仕員養成講座、要約筆記ボランティア講座開催 ・ボランティアガイド利用者 334人 ・筆談ボードを福祉総務課に設置した	達成した	福祉総務課 社会福祉協議会
24	補装具費の支給	○障害のある人の身体機能を補完・代替する補装具の購入または修理に要した費用の一部について補装具費を支給します。	実施（203件）	実施（229件）	達成した	福祉総務課

25	日常生活用具費の支給	○日常生活上の便宜を図るため、障害のある人に対し介護・訓練支援用具、自立生活支援用具、在宅療養等支援用具、情報・意思疎通支援用具、排せつ管理支援用具の購入に要した費用の一部について日常生活用具費を支給します。	実施（2,310件）	実施（2,342件）	達成した	福祉総務課
26	自動車運転免許取得費等の支給	○身体障害のある人が普通自動車運転免許を取得した場合に、その経費の一部を助成します。 ○身体障害のある人が就労等のために自ら運転する自動車の改造、または重度の身体障害のある人の介護者が本人の移動のために自動車を改造、もしくは購入する場合、その経費の一部を助成します。	実施（自動車改造費：7件、自動車運転免許取得助成：1件）	実施（自動車改造費：9件、自動車運転免許取得助成：3件）	達成した	福祉総務課
27	福祉タクシー料金の助成	○電車、バス等の公共交通機関を利用することができない障害のある人に対し、福祉タクシー券を交付し、経済的負担の軽減及び社会参加の促進を図ります。	実施（1,722件）	実施（1,782件）	達成した	福祉総務課
28	各種手当の給付	○障害のある人の経済的負担を軽減し、地域で安定した生活が送れるよう、国・県の各種手当に加え、市で心身障害者扶助料を支給します。 ○難病のある人に対し、難病見舞金を支給します。	実施（扶助料：5,681件、難病見舞金：876件）	実施（扶助料：5,760件、難病見舞金：905件）	達成した	福祉総務課
29	高齢者・障害者単身世帯等の戸別収集	○家庭から出るごみや資源を集積場所まで運ぶことが困難な高齢者・障害者単身世帯等に対し、戸別の収集を行います。 ○利用世帯数の増加に応じて収集体制等の検討を行います。	実施（33世帯）	実施（32世帯）	達成した	ごみ減量推進課
30	障害のある人の地域移行	○医療機関等との連携のもと、障害のある人の地域生活への移行支援及び定着支援に向け、各種サービスの充実を図ります。 ○施設入所者や、病院に入院している障害のある人の地域移行を進めるため、地域相談支援（地域移行支援、地域定着支援）事業を推進します。	自立支援協議会の地域専門部会において、精神科病院への訪問調査及び事例の検証を実施（地域移行支援支給決定数：1件）	障害者支援センターにおいて、地域移行支援の利用を促進（地域移行支援支給決定数：2件）	概ね達成した	福祉総務課
31	刈谷市障害者自立支援協議会の運営	○保健・医療、学校・企業・就労支援などの関係者、相談支援事業者、サービス事業者、当事者団体、行政機関などで構成する刈谷市障害者自立支援協議会において、相談支援事業をはじめとする地域の障害福祉に関するシステムづくりを進めます。	実施（3回開催）	実施（3回開催）	達成した	福祉総務課

事業番号	事業名	内容	実績		進捗状況	担当課 (H29)
			H28	H29		
32	障害者相談支援事業	<p>○市が指定する特定相談支援事業者等との連携のもと、障害のある人からの相談に対応し、助言や情報提供等の支援を行います。</p> <p>○特定相談支援事業者と連携を強化し、障害のある人のニーズや特性に応じたサービス等利用計画の作成を行います。また、利用者の状況に応じてモニタリングを実施し、障害のある人を取り巻く環境の変化等に対応します。</p>	実施（相談件数:6,823件、計画作成件数:608件）	実施（相談件数:8,246件、計画作成件数:789件）	達成した	福祉総務課
33	市相談窓口の充実	<p>○市障害福祉課の窓口において各種障害福祉サービスに関する相談、助言、情報提供を行い、高い専門性が必要とされる相談内容については、専門機関と連携を図りながら必要な支援を行います。</p> <p>○研修等への参加を通じ、相談にあたる職員の知識の向上に努めます。</p>	実施	実施 市内障害福祉事業所マップを作成し、市窓口や相談支援事業所で配布した	達成した	福祉総務課
34	ピアカウンセリング	<p>○障害者相談員を配置し、障害のある人または保護者からの相談に応じ、必要な情報の提供や助言を行います。</p> <p>○障害者相談員と、民生委員・児童委員やその他の相談機関等との連携を図れるよう、支援を行います。</p>	実績なし	実績なし	達成していない	福祉総務課
35	基幹相談支援センターの設置	<p>○基幹相談支援センターを設置し、障害のある人の総合的な相談や成年後見制度の利用支援に対応できる体制を整備します。</p> <p>○基幹相談支援センターを中心に、市内の各種相談機関や、障害のある人が利用する障害福祉サービス提供事業所、医療機関、学校等との連携を強化します。</p>	H28.4.1に基幹相談支援センターを開所	設置済	達成した	福祉総務課
36	声の市民だより	<p>○「声の市民だより」により、視覚障害のある人へ市の行政情報、その他公的な情報を提供します。</p>	市民だよりの音声情報を、刈谷市ホームページに掲載	市民だよりの音声情報を、刈谷市ホームページに掲載	達成した	広報広聴課
37	情報のバリアフリー化の推進	<p>○市民だよりやホームページについて、文字の大きさやフォント、色彩などに配慮し、障害のある人にとって見やすく、わかりやすい情報の提供に努めます。</p> <p>○障害のある人の特性やニーズに対応した情報提供の方法等を把握し、必要に応じて導入していきます。</p>	市民だよりにユニバーサルデザインフォントを使用 職員研修としてWebアクセシビリティ研修を実施 ビデオ広報に手話版を作成	市民だよりにユニバーサルデザインフォントを使用 職員研修としてWebアクセシビリティ研修を実施 ビデオ広報に手話版を作成	概ね達成した	広報広聴課
38	刈谷の福祉ガイド	<p>○手帳取得の手続きやサービス内容を紹介する「刈谷の福祉ガイド」を毎年度改訂し、配布します。</p> <p>○ガイドの紹介や配布の方法について研究し、サービスが必要とする人に情報が届くよう努めます。</p>	実施	実施	達成した	福祉総務課

39	成年後見制度	<p>○障害等のために判断能力が十分でない人が不利益を被らないように保護し支援する成年後見制度について、その周知を図ります。</p> <p>○サービス利用の観点から、成年後見制度の利用が有効と認められる身寄りのない知的障害または精神障害のある人に対し、制度の利用を支援します。</p>	実施（相談件数：180件）	実施（相談件数：203件）	達成した	福祉総務課
40	日常生活自立支援事業	○判断能力が十分でない障害のある人等が、地域で自立した生活を送れるよう、社会福祉協議会の日常生活自立支援事業による、福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理の支援を行います。	実施（35件）	実施（36件）	達成した	福祉総務課 社会福祉協議会
41	虐待の防止	<p>○障害者虐待の防止等に関する広報、その他啓発活動を行います。</p> <p>○障害者虐待防止センターを設置し、通報・報告等にかかる体制の整備を行います。</p>	福祉総務課内の障害者虐待防止センターにて、通報等に対応するとともに、夜間や休日においても対応できる体制を整えた	福祉総務課内の障害者虐待防止センターにて、通報等に対応するとともに、夜間や休日においても対応できる体制を整えた	達成した	福祉総務課 子育て推進課
42	総合的な権利擁護の推進	○障害のある人の増加や介助者の高齢化等に対応するため、成年後見のあり方について検討を進めます。	成年後見支援センターにて制度の普及啓発及び制度に関する相談を実施	成年後見支援センターにて制度の普及啓発及び制度に関する相談を実施	概ね達成した	福祉総務課 社会福祉協議会
43	障害のある子どもへの相談支援体制の整備	<p>○障害の疑いのある子どもやその保護者等からの相談に対し、保健、保育、福祉が連携して対応し、助言や情報提供等の支援を行います。</p> <p>○市が指定する特定相談支援事業者、障害児相談支援事業者との連携のもと、障害のある子どもの居宅サービス、通所サービスの利用にあたっての障害児支援利用計画の作成を行います。</p>	<p>実施</p> <p>チューリップ相談室（85人） ひまわり相談室（20人） ことばの相談室（519人） 障害児支援利用計画（363人）</p>	<p>実施</p> <p>チューリップ相談室（74人） ひまわり相談室（25人） ことばの相談室（316人） 障害児支援利用計画（390人） 子どもの発達に不安がある親向けに子育て支援セミナーを開催（55人）</p>	概ね達成した	福祉総務課 子育て支援課 子ども課
44	児童発達支援センター	<p>○しげはら園を児童発達支援センターとして位置づけ、障害のある子どもや発達に遅れのある子どもに対し、基本的な生活習慣及び集団生活への適応性を養う早期療育を行うとともに、相談支援等の機能を整備します。</p> <p>○民間団体と協力し、児童発達支援センターの充実を図ります。</p>	<p>実施</p> <p>しげはら園延べ利用者数（6,104人） ひかりっこ延べ利用者数（4,047人）</p>	<p>実施</p> <p>しげはら園延べ利用者数（4,048人） ひかりっこ延べ利用者数（3,949人）</p>	達成した	福祉総務課 子育て支援課
45	保育及び就学前教育の充実	<p>○障害のある幼児の心身の発達を促すとともに、幼児の障害に対する理解を深めることを目的として、すべての保育園・幼稚園で障害のある幼児の受け入れを行います。</p> <p>○保育士や幼稚園教諭等の加配により、障害のある幼児の受け入れ体制の充実を図ります。</p> <p>○臨床心理士等の保育カウンセラーによる各園への定期的な訪問を行い、専門的な支援を行います。</p>	<p>臨床心理士がカウンセラーとして定期的に訪問（保育園:15園、幼稚園:16園） 障害児保育補助（保育園:8園、幼稚園:16園）</p>	<p>臨床心理士がカウンセラーとして定期的に訪問（保育園:15園、幼稚園:16園） 障害児保育補助（保育園:8園、幼稚園:16園）</p>	達成した	子ども課

事業番号	事業名	内容	実績		進捗状況	担当課 (H29)
			H28	H29		
46	保育所等訪問支援の実施	○保育園等を利用している障害のある子どもに対し、障害児施設等で指導経験のある児童指導員、保育士による訪問指導を行います。	実施(215人) 保育園 14園 幼稚園 16園	実施(162人) 保育園 15園 幼稚園 16園	概ね達成した	福祉総務課 子ども課
47	特別支援学校の設立	○刈谷市内での特別支援学校(肢体不自由児学校)の設立に向け、調査・研究を進めます。	小垣江東小学校北舎の改修・増築工事	小垣江東小学校北舎の改修・増築工事	達成した	学校教育課
48	地域の学校における障害のある児童生徒への教育	○特別支援教育コーディネーターの各校への配置や、校内委員会の設置、研究会の開催、巡回相談の実施などを通じ、障害のある児童生徒への教育体制を整備し、一人ひとりの教育的ニーズに応じて適切な教育的支援を行います。 ○一人ひとりの習熟に合った個別の教育支援計画や、個別の指導計画を作成します。 ○インクルーシブ教育の理念に基づき、国等の動向を踏まえ、地域の学校で障害のある児童生徒が学べる環境を整備します。	実施	実施	概ね達成した	学校教育課
49	通級指導の充実	○言語障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)のある児童を対象とした通級教室を設置し、指導の充実に努めます。 ○注意欠陥多動性障害(ADHD)等の児童が増加していることを踏まえ、通級教室の拡大を県に要望していきます。	実施	通級教室の拡大を県に要望した結果、富士松南小学校に新たに設置した	概ね達成した	学校教育課
50	関係機関との連携	○特別支援教育連携協議会の開催を通じ、教育、医療、福祉、健康、労働等の各分野が連携した児童生徒への支援に努めます。 ○障害のある児童について、小学校入学前に個別の教育支援計画を作成し、保育園、幼稚園から小学校、中学校に至るまで、一体的な指導が行える体制を整備します。	実施 特別支援教育連携協議会(2回) 特別支援教育連携協議会小委員会(1回)	実施 特別支援教育連携協議会(2回) 特別支援教育連携協議会小委員会(1回)	概ね達成した	学校教育課
51	支援補助員の配置	○市内全小学校に学校教育活動支援指導補助員を配置するとともに、必要に応じて肢体不自由児童生徒介助支援員を配置します。 ○より継続した指導を行うため、支援員の増員・勤務日数の増加を検討します。	実施(肢体不自由児童生徒介助支援員…19名、特別支援学級児童生徒支援指導補助員…13名)	実施(肢体不自由児童生徒介助支援員…22名、特別支援学級児童生徒支援指導補助員…18名)	概ね達成した	学校教育課
52	体験学習・校外学習の推進	○各学校の特別支援学級に通級する児童生徒同士の交流を図るため、合同行事を開催します。	実施 合同宿泊訓練、合同運動会、合同卒業生から進路を学ぶ会、合同職場実習、合同交流会	実施 合同宿泊訓練、合同運動会、合同卒業生から進路を学ぶ会、合同職場実習、合同交流会	達成した	学校教育課
53	学校施設のバリアフリー化の推進	○必要に応じてスロープの設置等を行うなど、学校施設のバリアフリー化を推進します。 ○学校施設の改築の際には、バリアフリー、ユニバーサルデザインの視点から建設を進めます。	日高小学校、小垣江小学校、依佐美中学校の一部のトイレをバリアフリー化	小高原小学校、平成小学校、小垣江小学校、小垣江東小学校、刈谷東中学校の一部のトイレをバリアフリー化	達成した	教育総務課

54	就学相談・情報提供の充実	○就学指導委員会の開催や、就学相談、特別支援学校への体験入学等を通じ、障害のある児童生徒の就学を支援します。	実施（西三河就学相談、刈谷市就学相談、県立特別支援学校の体験入学）	実施（西三河就学相談、刈谷市就学相談、県立特別支援学校の体験入学）	達成した	学校教育課
55	障害のある子どもの進路指導の推進	○職場実習や卒業生からの進路を学ぶ会等の実施を通じ、障害のある児童生徒が、自身の将来の進路や職業を考える機会を設けます。	実施	実施 特別支援学級の生徒全員が職場実習を実施	概ね達成した	学校教育課
56	日中一時支援（再掲）	○地域生活支援事業の一つとして、日中、障害者支援施設等において障害のある人（就学児以上）に活動の場を提供し、見守りや社会適応に必要な訓練を行う日中一時支援事業を実施します。	実施（57人）	実施（44人）	達成した	福祉総務課
57	児童クラブや放課後子ども教室の充実	○児童クラブ施設のバリアフリー化を進め、障害のある児童の受け入れに努めます。 ○放課後子ども教室において、障害のある児童の受け入れに努めます。	・児童クラブ（特別支援学級児童13人登録） ・放課後子ども教室（特別支援学級児童8人受入れ）	・児童クラブ（特別支援学級児童15人登録） ・放課後子ども教室（特別支援学級児童9人受入れ）	達成した	子育て推進課 生涯学習課
58	レスパイト事業	○夏休みなどの長期休暇における障害のある中・高校生等の日中活動の場の確保及び家族の休息を図るため、障害者支援施設等で日中において一時的に受け入れるレスパイト事業を実施します。	実施 くすのき園 18人 たんぼぼ 25人 つくし作業所 13人	実施 くすのき園 8人 たんぼぼ 19人 つくし作業所 7人	達成した	福祉総務課
59	児童発達支援事業	○障害のある子どもの身近な療育の場として、地域の障害のある子どもを対象に、基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練等を行う児童発達支援事業を実施します。	実施（77人）	実施（81人）	達成した	福祉総務課
60	放課後等デイサービス	○学校通学中の障害のある子どもに対して、放課後や夏休み等の長期休暇中の居場所づくりや訓練の場を提供する放課後等デイサービスを実施します。	実施（194人）	実施（293人）	達成した	福祉総務課
61	ファミリー・サポート・センターの充実	○ファミリー・サポート・センターに登録する援助会員への講習会等の実施により、障害のある児童への対応ができる会員の確保・養成に努めます。	実施	実施	概ね達成した	子育て支援課
62	企業等への働きかけ	○障害のある人の雇用義務制度や、企業の社会的責任などについて啓発を行います。 ○パンフレットなどの活用により、各種助成制度等についての情報提供を行います。	実施	実施	達成した	商工業振興課
63	就労支援ネットワーク	○障害のある人の一般就労を促進するため、刈谷市障害者自立支援協議会を中心として、特別支援学校等の教育機関、公共職業安定所等の就労関係機関、就労移行支援を行う事業所、企業等と情報を交換し、連携を図ります。	事業所、企業等と情報を交換し、連携を図る場として障害者雇用セミナーを開催（参加者29人）	事業所、企業等と情報を交換し、連携を図る場として障害者雇用セミナー（参加者26人）、事業所バスツアー（参加者13人）を開催	達成した	福祉総務課

事業番号	事業名	内容	実績		進捗状況	担当課 (H29)
			H28	H29		
64	市職員の障害者雇用の拡大	○刈谷市において今後も障害者雇用率が法定雇用率を上回るよう職員の計画的な採用を行います。 ○職場のバリアフリー化や就労形態の工夫により、障害のある人が働きやすい環境づくりに努めます。	採用なし	2人(身体障害)採用	概ね達成した	人事課
65	障害者雇用企業の評価	○総合評価落札方式で行う工事入札において、障害のある人の雇用に積極的に取り組む企業を評価することにより、企業における障害のある人の雇用を促進します。	実施(14件)	実施(20件)	達成した	契約検査課
66	障害者就業・生活支援センター設置の働きかけ	○西三河南部西圏域の障害のある人の就労支援に関して中心的な役割を担う、障害者就業・生活支援センターの設置を、圏域内の市町との連携により、県に働きかけます。	設置済	設置済	達成した	福祉総務課
67	起業への支援	○刈谷市民活動支援基金の活用により、NPO法人の設立をめざす団体等の活動を支援します。 ○刈谷市民ボランティア活動支援センターにおける相談や講座等を通じ、NPOの設立、起業等を支援します。	・市民活動支援基金を活用し、NPO法人設立支援事業1団体、福祉関係のまちづくり活動支援2事業に補助金を交付	・市民活動支援基金を活用し、福祉関係のまちづくり活動支援2事業に補助金を交付	概ね達成した	市民協働課
68	就労移行支援事業	○福祉施設から一般就労等への移行に向けて、基礎的な訓練の実施、事業所内や企業における作業や実習、適性に合った職場探し、就労後における職場定着等、障害のある人の就労移行を支援します。	実施(37人)	実施(33人)	達成した	福祉総務課
69	就労継続支援事業	○一般就労が困難な障害のある人等を対象に、通所により働く場を提供するとともに、知識及び能力向上のために必要な訓練を行う就労継続支援事業を行います。	実施 就労継続支援A型 119人 就労継続支援B型 173人	実施 就労継続支援A型 107人 就労継続支援B型 202人	達成した	福祉総務課
70	職親委託事業	○知的障害のある人を預かり、自立のための生活訓練や就職に必要な技能習得訓練を行う職親委託事業を行います。	実施(利用者なし)	実施(利用者なし)	達成した	福祉総務課
71	工賃水準の向上	○就労継続支援事業所等の工賃水準の向上を図るため、事業所製品の展示・販路拡大等に努めます。	市役所で事業所製品の展示・販売を実施	市役所で事業所製品の展示・販売を実施	概ね達成した	福祉総務課 社会福祉協議会
72	就職支度金の支給	○社会復帰の促進を図ることを目的として、就労移行支援事業を利用している人が、訓練を終了し就職等により自立する場合に就職支度金を支給します。	実施(6件)	実施(3件)	達成した	福祉総務課
73	障害のある人の雇用への理解促進	○障害のある人を雇用している企業や、企業で活躍している障害のある人の紹介を行う等、障害者雇用への理解の促進を図ります。	障害者雇用を考えている企業の担当者を対象に障害者雇用セミナー開催	障害者雇用を考えている企業の担当者を対象に障害者雇用セミナー、事業所バスツアー開催	達成した	福祉総務課

74	スポーツ活動への参加支援	<ul style="list-style-type: none"> ○スポーツの楽しさを体験し、スポーツを通じた社会参加を促進するため、障害者スポーツ大会への参加を支援します。 ○スポーツ活動への障害のある人の参加を支援するためのボランティアや指導者の育成に努めます。 ○総合型地域スポーツクラブ等で、障害のある人も参加できるプログラムの提供に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会激励金支給16件 ・子どもから高齢者まで、気軽に楽しめる種目を紹介、体験する機会を提供（刈谷GOGOウォーキング大会、スポーツふれあいday、ノルディック・ウォークステーションの開催） 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ大会激励金支給18件 ・子どもから高齢者まで、気軽に楽しめる種目を紹介、体験する機会を提供（刈谷GOGOウォーキング大会、スポーツふれあいday、ノルディック・ウォークステーションの開催） 	概ね達成した	福祉総務課 スポーツ課
75	スポーツ教室の開催	<ul style="list-style-type: none"> ○一人でも多くの方がスポーツに親しめるよう、障害のある人が参加できるスポーツ教室を開催します。 	実施（3B体操参加者：426人 機能訓練講座参加者：233人）	実施（3B体操参加者：370人 機能訓練講座参加者：235人）	概ね達成した	社会福祉協議会
76	文化芸術活動機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ○障害のある人が開催・参加する作品展・文化展等を支援します。 ○障害のある人が文化芸術作品にふれられるよう、企画展の無料化を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市身体障害者福祉協会主催の作品展を後援、社会福祉協議会主催市民講座作品展を開催 ・有料企画展の入場料を無料化 	<ul style="list-style-type: none"> ・刈谷市身体障害者福祉協会主催の作品展を後援、社会福祉協議会主催市民講座作品展を開催 ・有料企画展の入場料を無料化 	概ね達成した	文化観光課 社会福祉協議会
77	文化施設等のバリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○文化施設等において、車いすトイレや車いす用観客席の整備、施設へのエレベーターの設置等を進め、障害のある人が安心して活動できる環境を整備します。 	各施設の良好な使用状態を維持	各施設の良好な使用状態を維持	達成した	生涯学習課 文化観光課
78	生涯学習等への参加支援	<ul style="list-style-type: none"> ○講演会において、磁気ループシステムの使用により、聴覚障害のある人が参加しやすい環境づくりを進めます。また、市民大学講座については手話通訳・要約筆記を配置します。 	実施	実施	達成した	生涯学習課
79	市立図書館サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○大活字本や録音図書等の充実、対面朗読や音訳資料の配送サービスの充実を図り、視覚障害のある人の利用を促進します。 ○ボランティアによる朗読サービスの活動を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害のある人も利用できる大活字本を購入（105冊） ・音声訳ボランティアによる朗読サービス活動支援として図書館を活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚障害のある人も利用できる大活字本を購入（191冊） ・音声訳ボランティアによる朗読サービス活動支援として図書館を活用 	達成した	生涯学習課
80	公共施設等のバリアフリー化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○新設する公共施設について、誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの考え方を取り入れた整備を行います。 ○既存の公共施設について、利用者の要望を把握しながらバリアフリー化を推進します。 ○投票所入り口の段差へのスロープ設置や、点字投票、代理投票などの制度について周知を行い、障害のある人が選挙に参加する機会を保障します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票所のバリアフリー化 ・双葉幼稚園、富士松北保育園にオストメイト設備の多目的トイレを設置 ・美術館トイレのバリアフリー化 	<ul style="list-style-type: none"> ・投票所のバリアフリー化 ・東刈谷幼稚園、小垣江東幼稚園、日高保育園、刈谷東中学校にオストメイト設備の多目的トイレを設置 	達成した	施設保全課 総務文書課 建築課
81	民間施設のバリアフリー化の促進	<ul style="list-style-type: none"> ○市内の民間施設に対し、バリアフリー化に関する啓発活動を行います。 ○多くの市民が利用する医療機関や金融機関、飲食店など、公共性の高い民間施設のバリアフリー化に対し、補助を行うとともに、制度を周知し利用を促進します。 	実施（補助件数3件）	<ul style="list-style-type: none"> ・実施（補助件数3件） ・刈谷商工会議所や刈谷医師会を訪問し制度周知に努めた。 	概ね達成した	建築課

事業番号	事業名	内容	実績		進捗状況	担当課 (H29)
			H28	H29		
8 2	わかりやすいサインの研究	○公共施設の案内板等の新設、修正において、障害のある人にもわかりやすい表示や色彩、デザインとなるよう努めます。	野田新町駅北側に施設案内表示板整備	実績なし	達成した	都市交通課
8 3	公共交通機関等のバリアフリー化の促進	○利用者数が多い鉄道駅について、鉄道事業者との連携のもと、エレベーター等の設置を進めます。 ○段差の解消などを考慮した歩道整備等を推進します。	・実施（電線類地中化事業等） ・逢妻駅にエレベーター設置	実施（電線類地中化事業等）	達成した	道路建設課 都市交通課
8 4	文字情報の充実	○駅の改札口やホームにおける列車の遅れや緊急情報について、音声だけでなく電光掲示板などによる文字情報の充実が図られるよう、団体等と連携しつつ、事業者に働きかけていきます。	実施	実施	概ね達成した	福祉総務課 都市交通課
8 5	刈谷市公共施設連絡バスの充実	○刈谷市公共施設連絡バスを運行し、障害のある人や高齢者等の社会参加を促進します。 ○刈谷市公共施設連絡バスの利用者数が増加していることを踏まえ、新路線の増設やバス停のシェルター、ベンチ等の整備を推進します。	・総合健康センターバス停等にシェルターを整備 ・バスロケーションシステムを導入し、刈谷駅南口バス停等に運行モニターを設置	・市役所バス停等に運行モニターを設置	達成した	都市交通課
8 6	安全な歩行空間の整備	○電線類の地中化、自転車と歩行者の分離を行うことにより、誰もが歩きやすい安全な道路空間の創出を図ります。	実施（東陽町他）	実施（相生町他）	達成した	道路建設課
8 7	防災に関する啓発の推進	○防災に関する広報や、地域の自主防災訓練への支援、防災講話の実施を通じ、地域の防災活動を支援します。また、障害のある人の防災訓練への参加を促進します。 ○要望に応じて、障害者福祉施設等に対し防災知識の普及や啓発を行います。	・地区の防災訓練で防災講話を実施 ・自主防災推進会議を開催	・地区の防災訓練で防災講話を実施 ・地域や関係課と連携し、より多くの避難行動要支援者の把握を進め、個人情報に配慮しながら情報の一元化と共有体制を整備した。	概ね達成した	危機管理課 福祉総務課
8 8	災害時要援護者の把握と地域のネットワークの構築	○防災部局と福祉部局が協力し、防災訓練、災害時の役割分担、災害時要援護者に関する方針の作成等を行った後、地域との情報共有を行い、各役割を明確にしています。 ○地域や関係課と連携しつつ、災害時要援護者の把握を進めるとともに、個人情報等に配慮しながら情報の一元化と共有体制を整備します。	・避難行動要支援者名簿を各地区に伝え、支援体制が取れるよう働きかけを行った。 ・地域や関係課と連携し、より多くの避難行動要支援者の把握を進め、個人情報に配慮しながら情報の一元化と共有体制を整備した。	・避難行動要支援者名簿を各地区に伝え、支援体制が取れるよう働きかけを行った。 ・地域や関係課と連携し、より多くの避難行動要支援者の把握を進め、個人情報に配慮しながら情報の一元化と共有体制を整備した。	概ね達成した	危機管理課 福祉総務課 長寿課
8 9	災害時等の情報伝達	○障害のある人に避難所の開設情報などが伝わるよう、メール配信システムや、ファクシミリにより緊急通報を受理する「ファクス119番」「ファクス119番」の周知を図ります。 ○同報系防災行政無線やFM放送を活用した防災ラジオなどの導入について検討を進め、障害のある人等に対応した災害時の情報伝達体制を整備します。	防災ラジオを販売	・防災ラジオを販売 ・公共施設等4か所にJアラートを接続 ・公共施設等6か所にKATCH緊急地震速報サービスを接続	概ね達成した	危機管理課

9 0	避難場所における配慮	<p>○主要な避難場所となる公共施設において、バリアフリー化を推進します。</p> <p>○聴覚障害のある人に状況説明や物資の配給等の情報が伝わるよう、文字情報を提供します。</p> <p>○医師会等関係団体との連携のもと、災害時の医療体制を整備します。</p> <p>○災害時に一般の避難所での生活が困難な障害のある人とその家族のため、福祉避難所の充実を図ります。</p>	<p>・福祉避難所である一ツ木福祉センターで避難所開設訓練を実施</p> <p>・福祉避難所である南部生涯学習センター、一ツ木福祉センター、心身障害者福祉会館に非常用電源としてソーラーパネル等を設置</p> <p>・福祉避難所の拡充を検討</p>	一ツ木福祉センターの位置付けを専ら福祉避難所とし、要配慮者の受入体制を拡充した	概ね達成した	危機管理課 教育総務課 福祉総務課 長寿課
9 1	防犯対策の推進	<p>○障害のある人が犯罪に巻き込まれないよう、消費生活相談を実施します。</p> <p>○刈谷市メール配信サービスを活用し、犯罪被害に関する情報を提供し、注意を促します。</p> <p>○市民だよりやホームページ等の情報媒体を活用し、消費生活相談やメール配信サービスの周知を行います。</p>	実施	実施	達成した	くらし安心課
9 2	市民の理解促進	<p>○市民だよりやホームページ、社会福祉協議会の機関紙等を通じ、障害や障害のある人への理解を進める広報・啓発活動を行います。</p> <p>○「障害者週間」や障害者に関するマークの普及等について周知を図ります。</p>	<p>・出前講座を開催（2回）</p> <p>・機関紙「刈谷市社協だより」を発行</p>	<p>・機関紙「刈谷市社協だより」を発行</p>	概ね達成した	福祉総務課 社会福祉協議会
9 3	市職員等の理解促進	<p>○市職員を対象として福祉体験研修や人権研修等を実施し、障害の特性や障害のある人についての理解の促進を図ります。</p>	新規採用職員を対象に福祉体験研修を実施	<p>・新規採用職員を対象に福祉体験研修を実施</p> <p>・全職員を対象に障害者差別解消法についての研修を実施</p>	達成した	人事課
9 4	学校における福祉教育の推進	<p>○小中学校において、社会福祉協議会との連携による福祉実践教育を実施します。講義やボランティア体験学習等の実施により、障害者福祉に関する知識や理解を深め、将来的なボランティアの担い手の育成を図ります。</p> <p>○小中学校の「総合的な学習の時間」等の中で、福祉をテーマとした学習を進めます。</p> <p>○交流学习を通じて、障害のある児童生徒についての正しい理解と接し方のマナーを身につけていきます。</p>	<p>・小中学校で視覚障害者ガイドおよび盲導犬についての学習を実施</p> <p>・小中学生が、車椅子、手話、点字等の体験を行った</p> <p>・青少年ボランティア福祉体験学習事業、刈谷市社会福祉教育指定校研修会を実施</p>	<p>・小中学校で視覚障害者ガイドおよび盲導犬についての学習を実施</p> <p>・小中学生が、車椅子、手話、点字等の体験を行った</p> <p>・青少年ボランティア福祉体験学習事業、刈谷市社会福祉教育指定校研修会を実施</p>	達成した	学校教育課 社会福祉協議会
9 5	教職員の障害者理解	<p>○小中学校の教職員を対象に研修等を実施し、障害と障害のある児童生徒についての知識を深めます。</p>	実施	実施	概ね達成した	学校教育課
9 6	施設祭り・イベントの開催支援	<p>○障害者支援施設等において、地域住民との交流が図られるよう、夏祭り等のふれあいの場づくりを支援します。</p> <p>○障害のある人に対し、各種行事等に障害のある人が参加しやすくなるよう、啓発を行います。</p>	<p>実施</p> <p>「ふれあいの里夏祭り」参加者数 615人</p>	<p>実施</p> <p>「ふれあいの里夏祭り」参加者数 670人</p>	達成した	福祉総務課 社会福祉協議会

事業番号	事業名	内容	実績		進捗状況	担当課 (H29)
			H28	H29		
97	児童生徒の交流	○障害のある児童生徒と障害のない児童生徒の相互理解を深めるため、特別支援学校と小中学校、保育園、幼稚園等との交流の機会を設けます。	・交流保育（さくら保育園としげはら園、日高保育園とひかりっこ） ・幼稚園体験の実施	・交流保育（さくら保育園としげはら園、日高保育園とひかりっこ） ・幼稚園体験の実施	達成した	子ども課 学校教育課
98	ボランティアの育成と活動支援	○刈谷市民ボランティア活動支援センターと社会福祉協議会ボランティアセンターとの連携を強化し、ボランティアに関する情報提供や相談、活動のコーディネートを行います。	・情報誌「ぼらっち」、「ひまわりボランティア通信」を発行 ・まちづくり交流会等を実施し、交流や相互理解を深める機会を創出 ・ボランティア団体に活動補助金を交付（77団体）	・情報誌「ぼらっち」、「ひまわりボランティア通信」を発行 ・まちづくり交流会等を実施し、交流や相互理解を深める機会を創出 ・ボランティア団体に活動補助金を交付（82団体）	概ね達成した	市民協働課 社会福祉協議会
99	地域住民の理解と支援	○障害のある人が地域で自立した生活を送ることができる環境づくりや、災害時の避難支援の充実に向け、地域の支え合い・助け合い活動を促進します。	・避難行動要支援者調査の結果を地区に提供し、援助体制の構築を依頼した ・北部地区社会福祉協議会では、北部地区において、住民同士の見守りや声掛けなどを推進し、地域の福祉増進を図ることを目的に活動を行った ・南部地区事務所では準備委員会を開催し、平成28年7月に南部地区社会福祉協議会が設立した	・避難行動要支援者調査の結果を地区に提供し、援助体制の構築を依頼した ・北部地区社会福祉協議会では、北部地区において、住民同士の見守りや声掛けなどを推進し、地域の福祉増進を図ることを目的に活動を行った ・南部地区事務所では、南部地区社会福祉協議会の活動を支援した ・中部地区事務所では、中部地区社会福祉協議会が設立されるよう支援した	概ね達成した	福祉総務課 社会福祉協議会
100	民生・児童委員の活動促進	○地域の福祉活動の相談役、推進役として重要な役割を担う民生・児童委員に対し、障害や障害のある人に関する知識を深めるための研修等の開催や関係機関との連携について支援します。	専門部会（全6部会）において施設研修、勉強会等を行った。	専門部会（全6部会）において施設研修、勉強会等を行った。	達成した	福祉総務課
101	当事者団体の活動への支援	○活動場所や情報の提供などを通じ、団体の主体性を尊重した活動支援を行います。 ○希望する人が加入できるよう、当事者団体の活動のPRを行います。	3団体に補助金を支給し、活動支援を実施	3団体に補助金を支給し、活動支援を実施	達成した	福祉総務課

5 第4期刈谷市障害福祉計画の成果目標

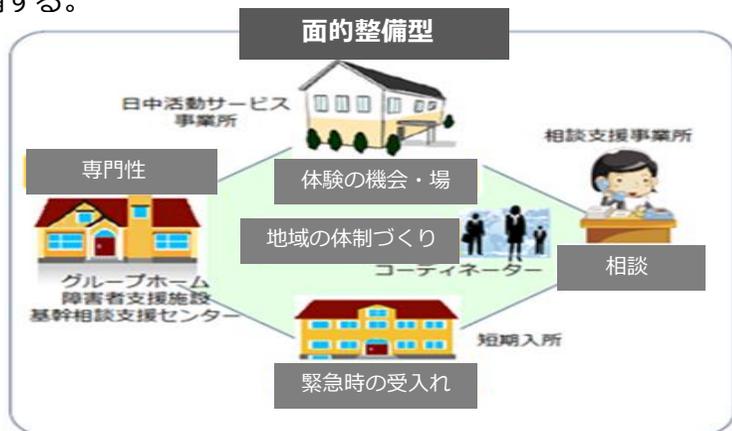
国の基本指針に基づき、障害のある人の自立支援の観点から、地域生活への移行や就労支援に対する課題に対応するため、次の3つの成果目標を掲げています。

(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行

項目	H25末 (実績)	H29末 (目標値)
施設入所者数	86人	82人
地域生活移行者数	—	11人

(2) 障害者の地域生活の支援

障害者の地域生活を支援する機能（相談、体験の機会・場、緊急時の受入れ、専門性、地域の体制づくり等）の集約を行う地域生活支援拠点等を本市又は西三河南部西圏域（碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、知立市、高浜市）に平成29年度までに1か所整備する。



(3) 福祉施設から一般就労への移行等

項目	H25末 (実績)	H29末 (目標値)
福祉施設から一般就労への移行者数	13人 (※H24実績)	26人
就労移行支援事業の利用者数	29人	38人
就労移行支援事業所全体に占める就労移行率が3割以上の事業所数の割合	—	100%

※福祉施設 …就労移行支援、就労継続支援A型・B型の事業所
 ※就労移行支援…一般就労を希望する人に、一定の期間、生産活動やその他の活動の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うもの

6

成果目標の進捗状況

1 福祉施設の入所者の地域生活への移行

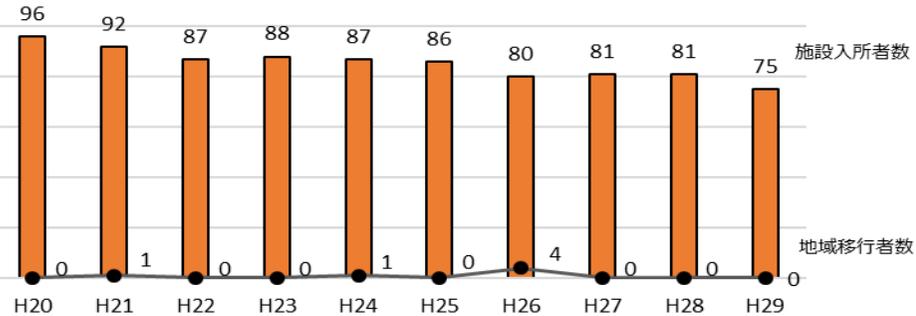
目標値 平成29年度末の施設入所者数を82人とする

	H27	H28	H29	達成状況
施設入所者数	81人	81人	75人	○

目標値 平成29年度末までに施設から地域生活への移行者数を11人とする

	H27	H28	H29	達成状況
地域生活移行者数	0人	0人	0人	×

【施設入所者数と地域移行者数の推移】



【H29施設入所者の内訳（年齢区分／障害支援区分）】

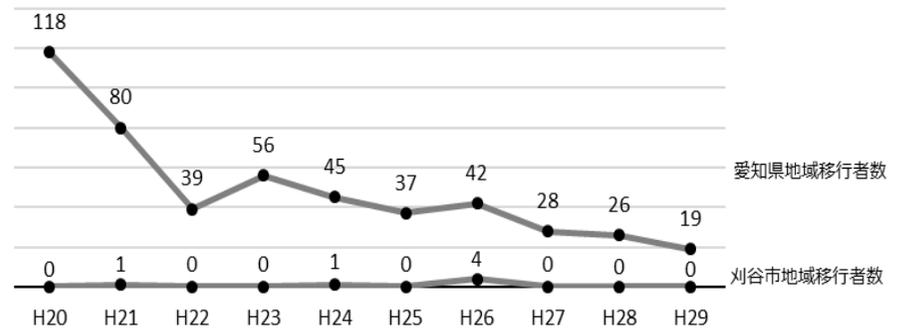
	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計
20～29歳	0	0	1	1	1	3
30～39歳	0	0	0	5	1	6
40～49歳	0	0	7	6	11	24
50～59歳	0	0	5	6	8	19
60～69歳	2	2	6	3	4	17
70歳～	0	1	2	3	0	6
計	2	3	21	24	25	75

【計画期間の総括及び今後の改善】

施設入所者数の削減については、目標値を大きく上回ったが、高齢施設への転所や死亡によるもので、自宅やグループホームなどの地域生活への移行者は3年間で0人であった。

施設入所を希望する待機者の多さや、施設入所者の重度化・長期化、グループホーム等の受け皿の確保など、地域生活を支える方策に関して課題があり、今後は「施設での生活」から「地域での生活」への移行ニーズや求められる支援等の把握と分析に努めるとともに、自立支援協議会を始めとする関係者のネットワークの強化により、地域での生活を支援していく必要がある。

【地域移行者数の推移(愛知県／刈谷市)】



2

障害者の地域生活の支援

目標値 平成29年度末までに地域生活支援拠点等を市又は圏域で整備する

	H27	H28	H29	達成状況
地域生活支援拠点等	未整備	未整備	未整備	×

【計画期間の総括及び今後の改善】

地域生活支援拠点等の整備については、圏域では整備に至らず、市単位で整備する必要があったが、整備することができなかった。

地域生活支援拠点等の機能として、「相談」「緊急時の受入れ」「体験の場」等が求められており、「相談」については、平成28年度に障害種別や年齢を問わず様々な障害に関する総合窓口として基幹相談支援センターを設置し、「緊急時の受入れ」「体験の場」については、グループホームの居室を借り上げるなど、居住支援の機能の拡充を図りました。

今後は、既存の機能等を有機的に連携する仕組みを構築するため、コーディネーターの配置等により拠点整備を図っていく必要がある。

3

福祉施設から一般就労への移行等

目標値 平成29年度末に福祉施設を退所し、一般就労する者を26人とする

	H27	H28	H29	達成状況
一般就労移行者数	12人	17人	19人	×

目標値 平成29年度の就労移行支援事業の利用者数を38人とする

	H27	H28	H29	達成状況
就労移行支援事業利用者数	32人	43人	33人	×

目標値 平成29年度末までに就労移行率3割以上の就労移行支援事業所数を100%とする

	H27	H28	H29	達成状況
就労移行率3割以上の就労移行支援事業所数の割合	33%	66%	66%	×

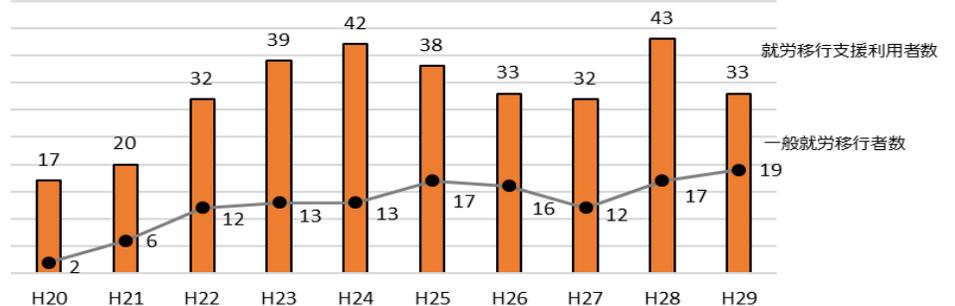
【計画期間の総括及び今後の改善】

福祉施設からの一般就労への移行については、年々増加傾向であったが、目標を達成できなかった。なお、一般就労移行者19人の移行前に利用していた福祉施設の内訳は、就労移行支援が11人、就労継続支援A型が4人、就労継続支援B型が4人であった。

就労移行支援事業の利用者数及び事業所の一般就労への移行率についても、目標を達成できなかった。なお、平成29年度の一般就労への移行率については、A事業所が33%、B事業所が17%、C事業所が40%であった。

福祉から一般就労の流れを促進するためには、就労移行支援事業が有効であり、就労準備段階から就労定着段階までの支援が継続できるような取り組みや、就労支援機関の連絡会を通して、事業所の支援力向上を図る必要がある。

【一般就労移行者数と就労移行支援利用者数の推移】



障害福祉サービス等見込量（活動指標）

	サービス名	単位	H27	H28	H29			利用状況と課題	
					見込量	実績	進捗率		
障害福祉サービス	居宅介護	時間（時間/月）	1,506	1,665	1,370	1,758	128.3%	・居宅介護及び重度訪問介護は、実績が見込量を上回っています。サービス利用のニーズが高まっていることに合わせて、対応する事業所も充足しており、利用者が必要とするサービスを適正に提供できていると考えます。	
	重度訪問介護	時間（時間/月）	1,573	1,625	2,135	2,392	112.0%		
	同行援護	時間（時間/月）	87	86	139	72	51.8%		
	行動援護	時間（時間/月）	28	4	35	3	8.6%	・行動援護は、見込量に対する乖離が大きく、市内に事業所が1か所しかないことが要因と考えます。	
	生活介護	日数（人日/月）	3,510	3,610	3,871	3,681	95.1%	・就労継続支援A型は、実績が見込量を上回っていますが、実績は減少傾向にあります。事業所が拡充されていないことが要因と考えます。 ・就労継続支援B型は、実績が見込量を上回っています。就労意欲の高まりや事業所の拡充が図られていることが要因と考えます。 ・短期入所は、実績が見込量を上回っていますが、利用できる施設が限られており、事業所の拡充が課題と考えます。	
	自立訓練（機能訓練）	人数（人/月）	0.8	2	1	0.2	20.0%		
	自立訓練（生活訓練）	人数（人/月）	7	9	9	7	77.8%		
	就労移行支援	人数（人/月）	28	37	38	33	86.8%		
	就労継続支援A型	人数（人/月）	122	119	96	107	111.5%		
	就労継続支援B型	人数（人/月）	165	173	182	202	111.0%		
	療養介護	人数（人/月）	12	11	14	12	85.7%		
	短期入所	人数（人/月）	44	47	41	48	117.1%		
	グループホーム	人数（人/月）	40	52	47	59	125.5%		・グループホームは、事業所の定員が増加したことから実績が見込量を上回っています。今後も地域移行の推進に向けて整備を進める必要があります。
	施設入所支援	人数（人/月）	81	80	82	77	93.9%		
	計画相談支援	人数（人/月）	60	61	118	75	63.5%	・計画相談支援は、モニタリング期間が長期化していることなどから実績が見込量を下回っています。	
地域移行支援	人数（人/月）	0	0.8	2	0.2	10.0%	・地域移行支援及び地域定着支援は、実績が見込量を下回っています。サービスの認知が低いことや地域生活を行う上での社会資源の不足が要因と考えます。		
地域定着支援	人数（人/月）	0	0	2	0	0%			
障害児通所支援等	児童発達支援	人数（人/月）	65	77	70	81	115.7%	・障害児数の増加に伴い、実績が見込量を上回っています。特に放課後等デイサービスは平成27年4月時点の8事業所から平成29年度末には17事業所と大きく増加したことに伴い、必要な方にサービスが充足されている状況です。	
	放課後等デイサービス	人数（人/月）	177	194	130	293	225.4%		
	保育所等訪問支援	人数（人/月）	6	17	2	16	800.0%		
	障害児相談支援	人数（人/月）	30	37	17	44	258.8%		
地域生活支援事業	移動支援	時間（時間/月）	679	723	735	855	116.3%	・移動支援は、外出支援のニーズが増加しており、実績が伸びています。	
	地域活動支援センター	人数（人/月）	60	66	50	60	120.0%		
	移動入浴	人数（人/月）	7	6	9	7	77.8%	・日中一時支援は、事業所の閉鎖に伴い、実績が見込量を下回っています。	
	日中一時支援	人数（人/月）	62	57	79	44	55.7%		